

# ごとう通信

第146号

平成25年2月1日

さすがに新年の気分は抜けてきました。皆さんはどのようなスタートになりましたか。

さて、先月の大雪の日は大変でした。僕は自転車で訪問に出ようとした時、いきなり雪が大粒になり、視界が悪くなり、それでも出発したら百メートルくらいでタイヤに雪が絡まり、全く動かなくなりました。なので押して引き返しました。しようがないのでタクシーで行こうと探して



てみても全車回送。ゆっくりと車庫に戻るところでした。諦めて徒歩で行こうと向かっている

と空車のタクシーを発見。良かった！と思い追いかけると、追いついちゃいました。僕よりも遅いんだったら用がないので結局電車移動。地下鉄の方は正常運転でした。とんだ成人の日でしたが、新成人にとっては忘れられない一日になったことでしょう。

問題は翌日以降。とにかく路面が凍結し、自転車移動に一苦労。しかも凹凸のある形で凍っていたので自転車にもかなりのダメージになってしまいました。しようがないですが、都心は雪に弱いですねえ。改めて痛感しました。

先日、ある方に「語り」というものを教えていただきました。定義はないうですけれど、基本的には一人で、小説などを本も見ず、体を動かすわけでもなく、まさに「語り」をする

というものでした。僕は朗読と混同していましたが、それとは全く違いました。例として芥川龍之介の「蜘蛛の糸」の一節を聴かせていただきましたが、鳥肌の立つような空気を感しました。その方はアナウンサー出身で、百人位の会場の舞台で一人、長いものでは三十分くらい語るそうです。ちょっと興味があるので今度は舞台にもお邪魔しようと思います。世の中にはいろんな表現法がありますね。

## フィーリング

昨年秋から使用しているランニングシューズ、物は良いはずなのですがどうも踵（かかと）のおさまりが悪く、僕の中では今いちって感じ。冬の